

学校だより

2023年

12月の資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。

●12月16日 危険物取扱検定

(全学年)

寮消防避難訓練

11月30日、日専寮にて本年度2回目の消防避難訓練を実施した。前回は授業中の災害発生を想定し、校舎や実習場からの避難訓練であったが、今回は寮からの避難を想定した。その目的は、いずれも、災害や緊急事態が発生した際に、教職員及び生徒が安全かつ迅速に避難する為の準備と訓練を行うものである。今回は13時15分に強い地震が発生し、寮の厨房より火災が発生。緊急事態を促すた



寮消防避難訓練

めに非常ベルを鳴動させ、寮内放送にて避難指示が出た後、即座に避難を開始するというシナリオで実施した。また、日立消防職員にも協力して頂き、避難時の状況を見て頂いた。他、水消火器の取扱いについて指導頂き、生徒が初期消火訓練を体験した。最後に消防職員から、緊急事態が発生した場合についての訓話を頂き、終了した。今後も万が一の有事に備え、避難訓練を計画して実施していく。

安全モノづくり教育

12月1日に日立G.L.S多賀事業所にて、生徒と教職員が安全・モノづくり教育を受講した。内容は、安全教育では「安全の必要性、安全に作業するために、5S3定について、ヒヤリハットの事例」、安全体感では「手袋切削体感、ドライバー巻き込まれ体感、コンセント発火体感、転倒体感(滑り、転がり)」、モノづくり体感では「トランプ配り、ピンボード体感、ネジ締め体感」などを受講した。実務現場での安全・モノづくり教育として貴重な機会であり、今後も事業所と連携して教育を進めていきたい。

2年電気科 木下 空宙

今回の安全教育では、目的や5S3定の大切さなどを、ビデオを活用しながら事例で説明していた。また、とてもわかりやすく、自分の中でもイメージしやすい内容でした。ま



安全モノづくり教育

た、実際に工場内の設備を活用して、安全やモノづくりを体感し、標準時間と間に合わせる事の難しさや、思い込みやルールを守らないことによる怪我のリスクを知ることができました。自分の中でも良い経験になりました。これから私も新入社員になるにあたって、「自分の身は自分で守る」ということを心に留め、その場のルールをしっかり理解し、分からなければ人に聞くこと、そして自分勝手な行動は絶対にしないことを意識して、行動していきたいと思えます。

入学試験

12月6、7日にかけて、2024年度生の入学試験を実施した。近年、少子化の影響が顕著に現れ、日専校のみならず、県立・私立ともに生徒の取り合いになっている。本校も人材確保に苦勞しており、従業員向けの説明会を開催したり、アウトリー

チ事業を展開するなど、幅広くPR活動を展開しているが、厳しい状況に変わりはない。来年度は70名を超える生徒を迎えることになるが、同窓会員の皆様の周りにいる中学生に、ぜひ本校の紹介をお願いしたい。大学進学が当たり前になる中、その後の就職を考えれば、将来日立グループで働きたい生徒にとっては、最短の道となると思う。



入学試験

耐寒ランニング、日専校マラソン大会

例年、マラソン大会に備え、事前に約1週間、平日の朝の授業前に、学校グラウンドで「耐寒ランニング」を実施している。今年度も12月13日から4日間実施した。体育委員のリードにより、1、2年生全員(3年生は工場実習中)がラジオ体操、日専校体操の後、グラウンドから校舎前の坂道、匠の道(学校内の林間)を走る。その他、体育の授業や部活

動でも、この時期はランニングの練習を行っている。そして、2年ぶりに「第54回日専校マラソン大会」を12月21日晴天の下、ひたち海浜公園にて開催した。生徒たちは、元気に園内を駆け抜け、全員が完走した。男子個人の部は2年機械溶接科の椎名慧音、女子個人の部は1年機械溶接科の大橋由依が優勝となった。ク

(10頁へ続く)



耐寒ランニング



日専校マラソン大会

(9頁の続き)

ラス対抗は2年機械溶接科、部活対抗はバスケットボール部が、それぞれ優勝した。生徒たちはお互いに応援し合い、皆が温かい気持ちで終えることができた。

技能五輪交流会



技能五輪交流会

12月15日、日専校体育館において第1回技能五輪交流会を実施した。当日は、日立グループから技能五輪全国大会に出場した8事業所の指導員と事務局スタッフ19名が来校し、事業所概要および技能五輪の職種・指導体制・訓練内容などについてご説明いただいた。参加した2年生からは、集中力の保ち方や緊張のほぐし方、日専校在校中に身に付けるべきスキルなど多くの質問が出された。技能五輪出場をめざしている生徒だけでなく、配属先を検討している生徒にとっても、技能五輪や事業所を詳しく知る良い機会となった。

多くの生徒がさらなる高い目標を掲げ、その達成に向けて勉強や実習に取り組んでくれることを期待している。第2回は職種別にグループ分けをして、指導員と生徒との意見交流会を予定している。

学校、寮清掃

年内最終日の前日12月25日の午後、全校生徒により学校と寮の清掃を行った。日専校では長期休暇前に関わらず、定期的に生徒による校内の環境整備を行っており、その目的は「学校、寮をきれいにして生活しやすくする」「生徒たちが主体的に考動する」「5S3定の原理原則を学び、入社後の安全につなげる」とことである。この活動では、各清掃エリアでリーダーを設定し、リーダーを中心として、生徒たちが、清掃範囲、方法を考え、安全第一で進めている。当日は、この1年間使用させてもらった学校と寮の設備に対して、感謝をもって入念に清掃した。



学校、寮清掃

考動アクション委員会報告

考動アクション委員長

2年電気科 崎川 真之介



この度、日専校のリーダーとして考動アクション委員長を務めることになりました。崎川真之介です。学校というチームのリーダーは、生徒全員を導くことが仕事なので、そうした仕事ができる嬉しさがある反面、任せられる責任感が身が引き締まる思いです。しかし、それに打ち勝つことで、真のリーダーとなり、充実感や達成感を得られるように頑張りたいと思います。

今年度の生徒スローガンは「すべてにおいてトップレベルの人財になる生徒」になりました。このスローガンは工場でも活躍できる生徒になるために立てました。「トップレベルの人財」とは、会社・工場が求めていると考える、人間力・技能技術力・即戦力が高い人財のことです。そうなるためには、生徒一人ひとりが、自主的に行動すること、向上心をもって行動すること、リーダーシップやフォロワーシップの力をつけることなどで達成できると考えています。

リーダーとしての活動目標は主に3つあります。1つ目は生徒が成長するための土台づくりをします。その土台から個々の自己成長を築いて

もらいます。2つ目は模範となつて行動することです。自分たちが模範となることで、個々の課題を見つけて、改善、対策する力を身に付けてもらいたいと思います。3つ目は相互指摘の意識向上です。生徒間で指摘し合うことにより、マナーやモラルの向上、気づき力を付けることができると思っています。

次に主な活動内容です。まず、考動アクション委員会の3つの内部組織である、学校委員会、寮委員会、部活動委員会の各委員長と話し合いを行い、各活動の共有、他委員会からの意見収集を行います。そしてそれを縦方向に展開します。例えば、学校委員会では、委員会から各クラスへアドバイスを行い、クラス活動の改善をサポートします。部活動委員会は、各部の部長と話し合いを行い、部活動や問題点を共有して、改善案を作成してもらいます。そうした活動を全校集会の場で発表することで、生徒全員が成長する機会を作ろうと思っています。自分に直接関係することだけではなく、様々な取り組みを知り、見識を広げて、気付き能力を高めていきたいと思っています。

私自身としては、リーダーとしての自覚をもち、行動することが大切だと思っていますので、内面を鍛え、メンバーと対話を繰り返し、泥臭くも時間をかけて仕事をこなしていこう

と思います。ものごとを自分から「やろう」と切り出して、人々をその方向へ全力で導いていく存在となれるように頑張ります。

Hitachi Industrial Skills Academy

トップレベルの人財とは

会社・工場が求めている能力が高いこと「**即戦力**」
「人間力」「技能・技術力」

↓

- ・自ら気づいて行動する
- ・目標をもって行動できる
- ・リーダーシップ力、フォロワーシップ力がある etc.,,
- ・向上心をもって行動できる
- ・あたりまえのことができる

⇒これを達成するために考動アクションやいつでも実践があり、各委員会の委員長がいる

© Hitachi Industrial Skills Academy 2023. All rights reserved.

考動アクション委員会 会社・工場が求めていること

Hitachi Industrial Skills Academy

スローガン

生徒スローガン
「すべてにおいてトップレベルの人財になる生徒」
自主性を磨き、工場などでも活躍できる生徒を目指す!!

プロジェクトリーダースローガン
「一昧同心」...共通の目的を持ち、心を同じくすること
自分から掲げた目標を達成するために、組織全体で心をつなげて、学校を良いものにするのに、遠慮なく取り組んでいきます。

考動アクション委員会 スローガン